

■正答

一 1 イ

2 その軌道の近くで他の天体をなくしきれなかった天体であり、衛星でない天体。

3 (例) 惑星へ成長する途中の段階であること(十七字)

4 (例) 各種報道は「降格」などと報じているが、冥王星は惑星へ成長する途中の段階の天体群であり、むしろ貴重な化石としての重要性が増した。(六十三字)

(例) 各種報道は「降格」などと報じているが、冥王星は惑星へ成長する途中の段階の天体群であり、むしろ貴重な化石としての重要性が増したのではない。(六十九字)

二 2 1 A ウ B ア C エ (完全解答)

■考え方

一 1 冥王星が「準惑星」になった経緯について時系列に整理しながら読みます。ここでは、冥王星より大きな外縁天体の発見が公表されたことがきっかけとなり、惑星の定義の決定についての動きが始まったことが読み取れます。

2 「惑星」と「準惑星」の共通点と相違点を整理しながら読みます。

3 「惑星」を「準惑星」を「小天体」と例えていることから、惑星の成長過程を踏襲の成長に例えて表現していることを読み取ります。

4 本文中から各種報道での報じられ方と筆者の考え方を比較しながら、その違いを捉え、筆者の考えを条件に読み取ります。

二 1 「メモ」には、詩から感じたことや考えたことについてグループで交流したことが書かれています。また、「しか」という言葉から強いメッセージを感じていることに注目します。

2 田中さんが、まど・みちおさんの詩の魅力を感じ、「いい詩だ」と考え、それを読み手に伝えるように説明するために、作者の背景を書くなど、読み手の工夫していることに注目します。

取り組んでみよう！

○ 「心を打たれる」の意味として最も適切なものをアからエまでの中から一つ選びなさい。また、「心を打たれた」を文末に用いた一文を書きなさい。その際「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書きなさい。

意味

ア 遠慮する。 イ 感動する。
ウ 一つのこと集中する。 エ あれこれと心配する。

一文

答え

「ミチヲシタマフコトヲ愛シキル命ノ命ヲシテ、これ」の文